

平成26年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	(水道)漏水調査事業			
予算科目	1 款 1 項 2 目			
総合計画での位置付け	住環境の整備と生活安全の確保～はつらつ住みよいまちづくり～ 生活環境の整備			
所管課情報	担当課:	水道課	電話番号(内線):	713
記入者情報	所属長:	野島 康博	担当責任者:	水野 知
事業の性格	法定事務			
実施期間	【開始年度】平成 17 年度 【開始年度】設定なし			
事業の対象	市民(上水道加入者)			
根拠法令等				
事業の目的	上水道区域内の配水管及び給水管に発生している地下漏水を発見し、早期に修繕することで無効水量を抑制し、有収率の向上を図ると共に水資源の損失を最小限に抑える。			
事業の内容	上水道区域内の公道下に埋設している配水管及び給水管を踏査し、発生している漏水音を発見することで漏水箇所を特定する。また、調査対象地区内の各戸の止水栓及び量水器からの漏水を発見する。			
改善策の 具体的 取り組み (当初)	漏水調査を実施することで漏水箇所を発見し、これを早期に修繕することができ、不明水量の減少に効果をあげていると考えられる。			
改善策の 具体的 取り組み				

事業費及び財源内訳					
項 目		25年度決算	26年度予算	9月末の執行状況	26年度決算
事業費	直接事業費	4,515	9,957	99	9,495
	人件費	1,057	1,113	79	1,113
	合計	0	11,070	178	10,608
人件費 内訳	人工数	0.13	0.14	0.01	0.14
	人件費単価	8,135	7,954	7,954	7,954
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	1,057	1,113	79	1,113
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	5,572	11,070	178	10,608

事業活動の実績(活動指標)					
項目	単位	25年度実績	26年度予定	9月末の実績	26年度実績
漏水箇所発見数	箇所	124	77	1	52
年間有収水量	㎥	3535428	4057000		3474684
年間総配水量	㎥	3896290	4363000		3762274
有収率	%	90.7	93		92.4

向こう5年間の直接事業費の推移						
年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	5年間の実績
	9,900	9,900	9,900	9,900	0	39,600

成果指標				
成果指標	有収率(%) = 年間有収水量 / 年間総配水量 × 100			
指標設定の考え方	有収率は、配水量に対し、料金として回収される水量(有収水量)がどれ位あるかを示すものである。有収率が低いということは、漏水が多いという指標となる。よって、漏水改善を講じることにより有収率の向上につながる。			
区分年度	25年度	26年度	27年度	目標29年度
目標	92	93	93	95
実績	90.7	92.4	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5	A
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	5	
	有効性	事業の効果	5	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	漏水調査を実施することで漏水箇所を発見し、これを早期に修繕することができる。早期に修繕することにより不明水量の減少に効果をあげていると考えられる。特に漏水が発生すると不明水が多くなる配水施設からの漏水調査の成果を集約し漏水が多発する路線を把握し、老朽管更新事業と並行し事業を行うことに、いっそう水資源の損失を抑え有収率の向上につながると考える。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5	A
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	5	
	有効性	事業の効果	5	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	漏水調査業務は、漏水箇所の早期発見や漏水箇所の特定ができるため、漏水修理の早期対応が可能となり、有収率の向上、強いては水資源の有効利用並びに水道事業における経費縮減につながるために、今後も継続的な漏水調査を実施し計画的な老朽管更新事業が効率的にできるよう努めていきたい。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題